

# オール沖縄 = 沖縄県知事選挙 = 翁長雄志さん当選 おなが たけし

沖縄県知事選挙は11月16日に投票が行われ、米軍基地「辺野古移設」計画に反対し、基地の国外や県外への移設を訴えた前の那覇市長の翁長雄志氏が、10万票の大差をつけて当選を果たしました。

選挙戦で翁長氏は、共産党、生活の党、社民党、地域政党の沖縄社会大衆党に加え、一部の保守系の地方議員からも支援を受け、文字通り「オール沖縄」で選挙に臨みました。

今後、去年の末に仲井真知事が行った辺野古の埋め立て承認の取り消しや撤回、国内の基地の75%が集中する米軍基地に「ノー」を突き付ける、沖縄の方々の闘いは、今始まったところです。

今回の知事選に、小川町からも応援に駆け付けた方々がいます。お二人の方から「リレーメッセージ」にご投稿いただきました。写真の投稿と一緒に掲載します。



## リレーメッセージ

### 沖縄知事選の応援に行ってきました 大塚 野地すい

私も「知事選応援ツアー」に同行させていただきました。住宅街での応援には、思いっきり声を出しました。埼玉から行って感じることは、とにかく海がきれいです。平和丸で辺野古の海を案内してもらいました。



海に出たらすぐに ジュゴンの餌になる海草の生える藻場です。

この綺麗な海を埋め立てて基地を作ってアメリカに差し上げることは絶対反対です。

全国からたくさんの方が応援に駆けつけていました。

年金者組合、医労連、個人的にも、若い人、年輩者、私たち6人もみなさんと同じ思いで頑張りました



## 沖縄知事選の応援に行ってきました

青山 大塚秀子

比企地区平和委員会の女性6人で11月16日投票予定の沖縄県知事選の応援に行き参りました。百聞は一見にしかず。その通りの体験でした。

「誇りある豊かさを！21世紀ビジョンの真の理念を実行。オール沖縄で子や孫のために禍根を残さない。」これは選挙のスローガンです。私は「誇りある豊かさ」という言葉に感動します。沖縄の先人達は戦後の貧しさにあっても、目の前の大金に目もくれず戦後69年間ウチナーの誇りを貫いてきたのです。

私たちは全国から日々駆け付ける人たちと共に朝7時半から1時間、9時半及び3時から2時間ずつ街頭手振りやリレートーク、住宅街で分担された地域での訴えなど、極めて整然とした行動で参加しました。最終日には辺野古「座り込みテント」の場所に集う人びとと交流、80歳前後の人たちの生きる力強さ、人びとの生き生きとした姿に圧倒されました。船で海上にも出ました。水しぶきを浴びながら、人間の心と体を育むこの豊かな宝の海を絶対壊してはならないと肝に銘ずる思いでした。

辺野古の問題はもう18年にもなる闘いです。移転拒否の稲嶺氏が2010年名護市長に当選し、今回オール沖縄で、前那覇市長オナガ(翁長)雄志氏が、「辺野古新基地阻止にこそ真の21世紀のビジョンの姿がある。」として、

戦後の県民の不屈の闘いと団結の結晶である「建白書」の実現を公約に立候補しました。



沖縄の基地問題は国民全体のテーマです。今こそアメリカ追従の路線から脱却し、真の平和で誇りある豊かさ追求路線に転換するチャンスともいえます。「原発はいらない。

1兆円のお金は福島に」と沖縄の人びとは言っています。凄い人たちですね。「再び戦争をしてはならない。平和憲法を守り、自由にももの言える社会を守り抜きたい」と私も思っています。この旅行は「もう年だから」と思いはじめた自分に大きな喝を与

えてくれるものとなりました。

今、改めて沖縄県知事選の勝利をかみしめています。

## 2015年 町民コンサート 準備始動

上記の大塚秀子さんといえば「町民コンサート」でおなじみの声楽家です。おがわ町九条の会の町民コンサートは、すでに8回を数え、次は9回目となります。その第9回町民コンサートは来年4月ごろの開催をめざして動き始めました。近く第1回の実行委員会が開かれ、演目、出演者などを検討していきます。こういう取り組みに関心のある方の参加は大歓迎です。実行委員になっていいという方は、☎74-1138 渡辺に電話してください。



# 安倍内閣の改憲暴走を許さない！ 九条の会集会&パレード

九条の会は、11月24日「安倍内閣の改憲暴走を許さない！九条の会集会&パレード」を日比谷公会堂で開催しました。全国各地の九条の会や護憲のグループなど約2,500人が、集会に参加(主催者発表)。小川町からも9名が参加しました。



集会は「非戦を選ぶ演劇人の会」の朗読劇に続き、呼び掛け人の一人、奥平康弘東京大名誉教授と作家の澤地久枝さんがあいさつしました。奥平康弘東京大名誉教授は「日本が戦後培ってきた平和主義に立ち戻るべきだ」と強調。事務局長の小森陽一東大

教授も「この衆院選を、改憲の動きを阻止する運動の出発点にしよう」と訴えました。



9条の会のデモ行進は初の試みで、買い物客で賑わう銀座通りを約二キロ歩きました。「九条を変えるな」「戦争する国ゴメンです」と書いたプラカードを掲げながら、「閣議決定を撤回せよ」「若者を戦場に送るな」と声をからして訴えました。



せよ」「若者を戦場に送るな」と声をからして訴えました。

## ご案内

### にぎやかに成人を祝い、「たより」を手渡そう

例年小川町の成人式の日には、おがわ町九条の会は、新成人たちに「成人おめでとう」と声をかけながら、「おがわ町九条の会だより」の新年号を配る活動をしています。

2015年の成人式でも同じ取り組みをおこないます。九条の会のたくさんの「大人」たちが、にぎにぎしく新成人を迎えて声をかければ力強いと思います。会員の皆さんぜひ参加してください。

**2015年1月11日(日)午前8時30分**

リリック駐車場向かいに集合してください。  
(9:30から1時間、町の駅近辺にも配布します。ご協力ください)



# さあ! 総選挙 これこそが争点だ!

集団的自衛権行使を認めるのかどうか

特定秘密保護法を維持するか撤廃するか

原発を廃止するか存続し再稼働させるか

辺野古に新基地をつくらせるのかどうか

アベノミクス・消費税・TPPをどうするか



## 集団的自衛権反対の署名を集めよう

九条の会が呼びかけている集団的自衛権反対の請願署名「**集団的自衛権行使は海外で戦争をすることであり平和憲法の破壊です。憲法9条を守り、生かしてください**」には、おがわ町九条の会も全力で取り組み、これまでにない大量の署名を集めようと考えています。10月の「九条の会だより」と一緒に、会員の皆さんには署名簿をお届けしていると思います。

ぜひ署名を集めてください。集めた署名は、おがわ町九条の会事務局またはお知り合いの運営委員にお届けください。(今回、署名用紙を再度同封しました。さらにご入用の場合は、お近くの運営委員にお声掛けください。)

### 9条サロン

### 「改憲派」のお粗末さにあきれる

作家の森村誠一さんが編者となって「迷子の日本国憲法―ただ一つの国からただの国へ―」(徳間書店)という本を出している。いろんな立場の人の意見をたくさん集めている。森村さんは護憲の立場の人だが、この本は護憲派、改憲派どちらの論者の意見も載せている。はつきり改憲派と言える人が3分の1近くを占めている。以前からわかっていたことだが、この本をみると、改憲派の人たちの意見のだらめさ、お粗末さ、間違いなどがよくわかる。暇つぶしの「脳力のレッスン」にこの本の改憲派の論の誤りを指摘する遊びをするのも一興かと思つ。

一例をあげてみよう。城繁幸という人物(私は知らないが、作家・人事)「コンサルタントの肩書あり」は、「集団的自衛権を云々言ってる暇があったら勉強しろ」と激しい剣幕で平和運動を罵倒している。そのなかで、「集団的自衛権の閣議決定後」各地でデモが継続中だった。同盟国の後方支援という、国際的に見ればもともと自衛権の範囲に収まっているレベルの話に過ぎないの「……」と言つて反対デモを非難している。集団的自衛権を同盟国の後方支援と勘違いしている。お粗末! またその後方支援は「もともと自衛権の範囲に収まっている」という珍説を展開。「国際的」見ても見なくても、馬鹿げた迷論である。(B)



徳間書店刊  
¥1,080